

2017.10. 2 <計2枚>

報道関係各位

立命館大学広報課

オーストラリア国立大学と学部共同学位プログラムを創設
2019年度にグローバル教養学部を開設
～共同で拓くグローバル・リベラル・アーツ教育の新時代～

本日(2017年10月2日)、立命館大学(京都市、学長 吉田美喜夫、以下「立命館」)とオーストラリア国立大学(オーストラリア・キャンベラ、学長 ブライアン・シュミット、以下「ANU」)は、学部共同学位(デュアル・ディグリー、卒業時に2つの大学からそれぞれの学位を取得できる)プログラムに係る協定を締結しました。本協定は2014年7月の安倍首相によるANU視察後に両大学が協議を重ねた結果、実現したものです。

本協定は、2019年4月に立命館大学大阪いばらきキャンパス(大阪府茨木市)に設置構想中の「グローバル教養学部(以下、「GLA」)」(※詳細は別紙)とANUのCoral Bell School of Asia Pacific Affairsとの間で運営されるデュアル・ディグリーに関するものであり、GLAは学部共同学位プログラムを教育課程の全面に組み込んだ、日本初の学部です。

GLAでは毎年100名の学生を受け入れ、4年間の教育課程を両大学で修めます。授業はすべて英語で行われ、ANUの授業の一部は、同大学教授陣によって日本でも開講されます。入学者100名のうち、90名は立命館、10名はANUで学びをスタートします。立命館の学生は3年次にANUで学び、ANUの学生は2年次と3年次に立命館で学びます。プログラムを修了した学生は、立命館から学士(グローバル教養学)を、ANUからアジア太平洋学の学士号をそれぞれ取得します。

●吉田美喜夫 立命館大学長(写真右)のコメント

新たに設置を構想しているGLAは、学部全体で海外大学との連携による学部共同学位プログラムを組み込んだ学士課程として、日本で初めて誕生しようとしています。日本においてグローバル教育を先導してきた立命館と、世界的に優れた教育研究力を誇るANUとの連携をとおり、GLAではこれまでとは全く異なる次元で、世界水準の教育プログラムを展開します。GLAは日本、そして世界の未来を拓くグローバルリーダーの育成に貢献できるものと確信しています。



●ブライアン・シュミット ANU 学長(写真左)のコメント

ANUのCoral Bell School of Asia Pacific Affairsは、アジア太平洋地域の政治、歴史、経済、文化、言語を学ぶ上で最も優れた大学として世界的に高い評価を得ています。この学部共同学位プログラムによって、日豪両国の学生はアジア太平洋地域に関わる知識を深め、域内の優れた研究者から学ぶ素晴らしい機会を得ることになります。

＜立命館大学グローバル教養学部について(2019 年 4 月設置構想中)＞

学部名称：グローバル教養学部

学科名称：グローバル教養学科

学位名称：学士(グローバル教養学)

Bachelor of Global Liberal Arts

開設時期：2019 年 4 月

開設場所：大阪いばらきキャンパス(大阪府茨木市)

入学定員：100 名

主な授業内容：グローバル化した社会にふさわしいリベラル・アーツの学びとして、多様性に対する洞察力、広く俯瞰できる視野、理論と現場を架橋する実践的知性などを身につけられるカリキュラムを設けます。学生は、立命館大学の学修に加えてオーストラリア国立大学でも学修し、日・豪ふたつの大学で授業を受けて学生生活を過ごすなかで様々なボーダーを超える経験を積みます。このような学びや経験を通じて本学部は、これからの社会において実践的に問題発見や問題解決をリードし、またそのために自ら学び続けることができる人材の育成を目指します。

想定される進路：英語圏のプロフェッショナル・スクール(専門職大学院)や研究大学院への進学(高度職業人としてのキャリア)、グローバルな舞台で実践力を発揮できる企業。

＜オーストラリア国立大学(ANU)について＞

オーストラリア国立大学は首都キャンベラにある世界有数の大学です。首都にあることから、オーストラリア政府とも関係が深く、国民のための知の資源として特別な立場を築くなど、独自の歴史を誇ります。オーストラリア国立大学では財産として、また教育へのアプローチとして研究に力を入れています。そのため、現代の複雑な課題を理解し、その対処に洞察力や独創性を発揮できる当校の学生は、世界中から求められる人材となっています。

ホームページ： <http://www.anu.edu.au/>

＜オーストラリア国立大学 Coral Bell School of Asia Pacific Affairs について＞

国際的に著名な学者であるコーラル・ベル博士に敬意を表し、その名を冠した Coral Bell School of Asia Pacific Affairs は、学術研究と地域研究の間に位置する独創的な研究機関で、アジア太平洋地域の政治と国際情勢に関する世界最高レベルの専門知識が集結しています。

同スクールには異なる学問領域にまたがる活気溢れる知的コミュニティが数多くあります。Department of International Relations(国際関係学部)は国際／グローバル政治の研究で世界トップクラスを誇り、この研究分野ではオーストラリア初の学部です。この他に、オーストラリア有数の大学発シンクタンク Strategic and Defence Studies Centre(戦略防衛研究センター)、民際外交に関する研究および教育を専門とする南半球唯一の研究センター Asia Pacific College of Diplomacy が設置されています。また、Department of Political and Social Change(政治・社会改革学部)にはインドネシア国外では最も多くのインドネシア政治の専門家が集まっており、State, Society and Governance in Melanesia Program(メラネシアの国家・社会・ガバナンスに関するプログラム)も太平洋研究に関する世界最大の専門知識の宝庫となっています。

ホームページ：<http://bellschool.anu.edu.au/>